

大谷中

海と生きる町 探究し行動



これがイチオシ 大谷いも 2年生が栽培

「大谷いも」は戦後の食糧難の時代に気仙沼市大谷で多く栽培された馬鈴薯です。味と品質は日本一と呼ばれ、市場を席巻していました。その後生産数は減りましたが、2021年の道の駅大谷海岸のリニューアルに合わせ、再び栽培されるようになりました。海藻を肥料に使うのでミネラルが豊富で、味や食感が良くなります。大谷中学校でも本年度、2年生が栽培し7月に約400個収穫できました。大谷いもが大谷の特産品として、さらに多くの方に親しまれるとうれしいです。

学校名 気仙沼市大谷中学校
所在地 宮城県気仙沼市本吉町三島60の4
創立 1947年
電話 0226(44)2004
校長 熊谷 昌祐
生徒 66人

地域を深く知り活性化

大谷中学校では総合的な学習の時間「なみま」で「海と生きる大谷地区をより活気づける」をテーマに、海に隣接した私たちの住む地域に関することや環境問題に理解を深め、一人一人が興味、関心のある事柄について探究します。地域についてより深く知るため、大谷地区の方々と講師としてお招きし、地域資源や課題などについて講話をいただくこともあります。そこで聞いたことを生かして探究の仕方を自分たちで考え、行動していきます。

前年度は、道の駅で開催されるイベントに参加し、地元の特産品「大谷いも」を使った手作りのおにぎりや海洋ごみをアップサイクルして作ったキーホルダーを観光客の方々に配りました。海に親しむ人を増やしたいという思いから、NPO法人に協力をいただき、地域の子どもたちと一緒に釣りをするイベントなども実施しました。今後、なみまで学んだことを生かし、大谷地区の活性化のため、自分たちができることに取り組んでいきたいです。



編集委員 阿部鼓太郎、大内芽、佐藤煌、佐野碧 (3年) 及川由莉華、佐藤琴音、佐藤岬、畠山千春 (2年)
指導教員 岸亮太、佐々木樹、熊谷圭子

わが校わがまち スクール通信



次回は
山王小 (多賀城市)
米山中 (登米市)

異学年交流で仲を深める

沖野小

楽しい「かしの実集会」

沖野小学校では年に1回、異学年交流の「かしの実集会」を行っています。校木であるかしの木が名前の由来で、4〜6年の学年がお店を何するかを計画し、運営します。本年度は7月上旬に開催しました。「映画館」「お宝探し」「ゲームセンター」「箱の中身はなんだろう」といった16のお店が教室や体育館などで開かれました。下学年はワクワクした表情でお店巡りをしました。上学年から分りやすく遊び方を教えてもらい、とても楽しんでいます。

交流活動を行うことで異学年のことも考えて行動するようになり、互いの仲も深まっています。これからも一人一人の考えを認め合い、思いやりの気持ちを大切にして、いろいろな人との交流を楽しみたいと思います。



これがイチオシ カッシーくんは人気者

沖野小学校には「カッシーくん」というキャラクターがいます。かしの実をモチーフにしたキャラクターで、11年前に生まれました。カッシーくんは体育館の跳び箱など学校のいろいろな場所にいます。特に昇降口の通路にある旗が分かりやすく、必ずみんなの目に止まるように飾ってあります。学校に来たお客さんや保護者の方にも、親しみやすくなっていると思います。そんなカッシーくんは今でも、多くの人に親しまれています。

学校名 仙台市立沖野小学校
所在地 仙台市若林区沖野3の20の1
創立 1977年
電話 022(286)2831
校長 千葉 義徳
児童 410人



かしの実集会でゲームセンターの準備(じゅんび)をする児童たち

編集委員 佐藤寿音、加納遼斗 (6年)
指導教員 本郷謙、伊沢友香